

川合神社 岡山県神社庁 神社検索システム

由緒

当社の草創は、古代に遡ると思われる。上房郡誌によると「往古は川合山のみねに石の宝殿を造り鎮座したり、古代の岩あり、正徳5年12月、今の地に奉遷したり」と記されている。

川合山の頂上に「石の宝殿」がありそこに祀られていたという。古代、神の「依りしろ」は山や森や池等であったり、大木であったり、巨岩、巨石であった。故に石の宝殿に祀られていたと伝えられるのは常識であろう。

川合山は、吉川川や宇甘川の両川の合流点に屹立し、神の「依りしろ」として、ふさわしく神々しい山容をなしている。古代の人は、ここにこの地の地主神を祀ったのである。

先年宝殿の遺跡を発掘したところ、弥生時代の土器、石器が出土し、人々を驚かせたのであるが、これらから考えられることは、川合神社の草創は古代であったと思われる。川合山を中心に、前の原を神原といい付近に御神山、巫子山、巫子岩があり、向かいの高祖の山の段からは、寛保元年に土中から、古刀2口古鏡1面、古銅器1個、瓦器数個、銅、焼物の鈴などが出土した。

これは、古墳時代のもと考えられ、古代より長期間、川合山がこの地方の信仰の中心であった。川合神社に、八幡神を勧請されたのはいつ頃か。これも確たる証拠になるものはない。ただ川合神社と清水寺とは非常に関係が深かったらしく、備中誌よると、社僧は清水寺から任じられたという。

前の写真へ次

基本情報

神社コード 11028

神社名 川合神社（カワイジンジャ）

通称名 川合八幡宮

旧社格 村社

鎮座地 〒716-1111 加賀郡吉備中央町田土3113・湯山2

電話番号

FAX番号

駐車場

御祭神 足仲彦尊, 氣長足姫尊, 譽田別尊

御神徳

主な祭典 4月17日: 祈年祭
8月23日: 献燈祭
10月18日: 例祭

宮司宅電話

URL

e-mail

特記事項 献燈祭は岡山県の民俗資料無形文化財に指定されている

交通アクセス

岡山自動車道賀陽 I C から県道 57 号総社・賀陽線を北東へ 1.5 km、同県道と、県道 63 号高梁・建部線の交わるところ

[検索画面に戻る](#)

